

フィクサー混合水栓ホワイトマット/ブラックマット KM7051(L)(W/B)MMI (各仕様共通) 取扱説明書

●ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
●この説明書はKM7051(W/B)MMI仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です
この絵表示は、「分解禁止」の内容です
この絵表示は、「接触禁止」の内容です
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p>給湯温度は85°Cより高温で使わないでください。</p> <p>85°Cより高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地域でご使用の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>器具の左側は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p>給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>キャビネット内の湯側配管は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p>給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いのときには吐水口および器具の左側は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>

<p>警告</p> <p>湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから吐水してください。</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。</p> <p>湯側を先に開栓すると、高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>
<p>高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流してください。</p> <p>次に使用する時、水栓内に残っている高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>お湯を使用した後で次に使用する時は、しばらく吐水させてからお使いください。</p> <p>湯温が安定してからしばらく吐水させないと、温度変化によりやけどをするおそれがあります。</p>	

<p>警告</p> <p>器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具をぶついたり落したりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>塗装面が傷つき、剥がれによりけがをするおそれがあります。</p>	<p>レバーハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p>急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>注意</p> <p>凍結が予想される際は、一般地域でご使用の場合は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地域でご使用の場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

やけど、漏水をした場合の処置

やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

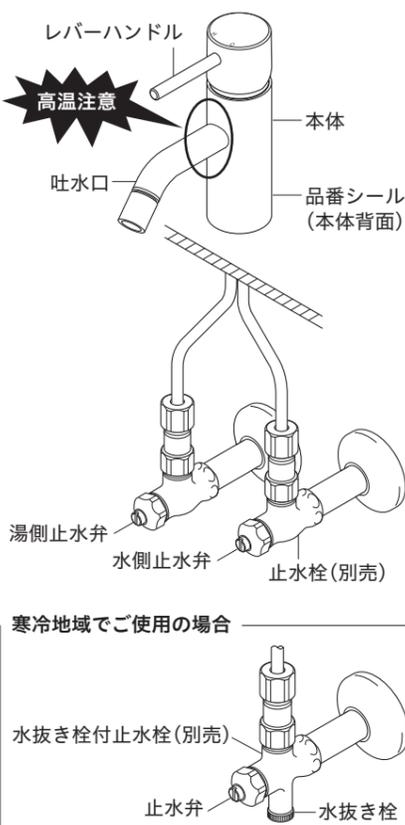
ご使用前に / ご使用方法

給湯器の使用上のご注意

- 給湯器の給湯温度は、安全のため60°C以下の設定をおすすめします。
- レバーハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- レバーハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合はレバーハンドルで調節を行ってください)

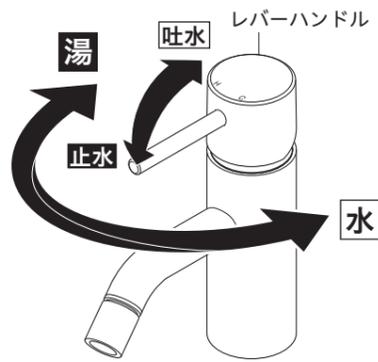
- この製品は、塗装仕様になっており、表面が柔らかくなっています。製品上、傷がつきやすいため、取扱には十分に注意してください。(※5ページ「お手入れ方法」を参照いただき、製品に傷がつきやすい物は使用しないでください。)
- 使用環境および使用方法により、外観の色調が変わる事があります。

各部の名称



温度、出し止め、量の調節方法

レバーハンドルを右へ回すとぬるくなり、左へ回すと熱くなります。レバーハンドルを上げると吐水、下いっばいまで下げると止水します。上へ上げるほど流量が増します。



警告
湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

注意
レバーハンドルは無理な力を加えずゆっくり操作してください。急な操作や無理な力での操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結予防のしかた

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
 - 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。
- 警告** 解氷機を使用する際は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 注意** 凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。急りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

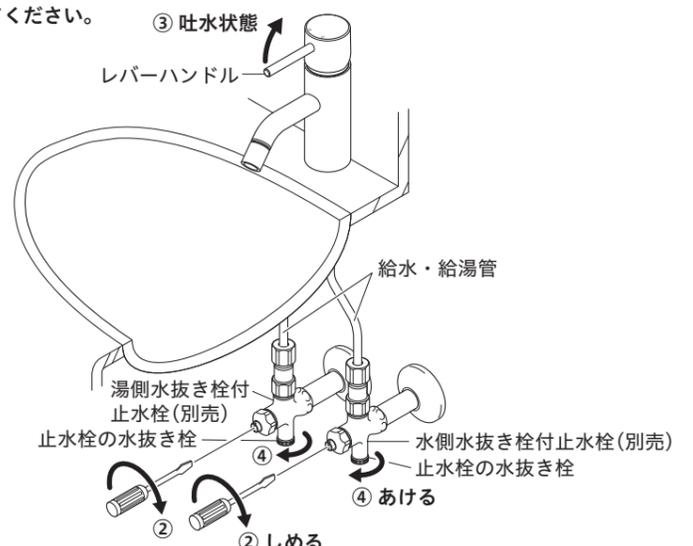
一般地域でご使用の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。
・水栓より少量の水を出しておきます。 ・配管部などに布を巻きまます。

寒冷地域でご使用の場合

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操作
	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作)
②		湯水の止水栓の止水弁(2か所)を締めます。
③	③	レバーハンドルを真中の位置で吐水状態にします。
④	④	湯水の止水栓の水抜き栓を開けて水を抜きます。

警告 湯側の止水栓の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



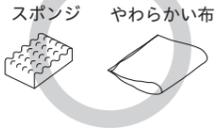
水抜き後 通水を再開する

お願い 上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜き栓がしまっていることを確認して、レバーハンドルを下げて(止水状態)から通水してください。通水を再開しても水が出ない場合……レバーハンドルを上げて(吐水状態)、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。



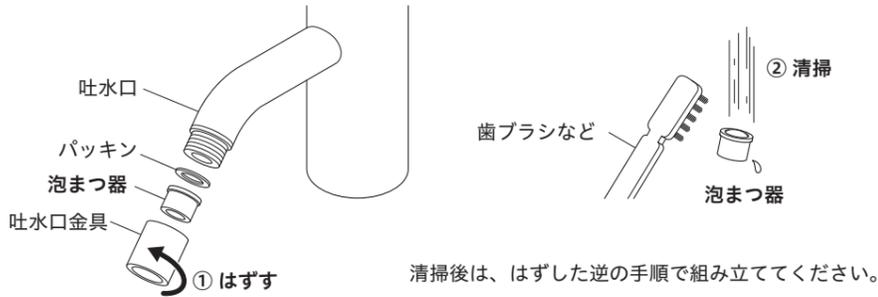
【使ってはいけないもの】
シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤および漂白剤は使わないでください。
メラミンスポンジ・たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



泡まつ器の清掃方法

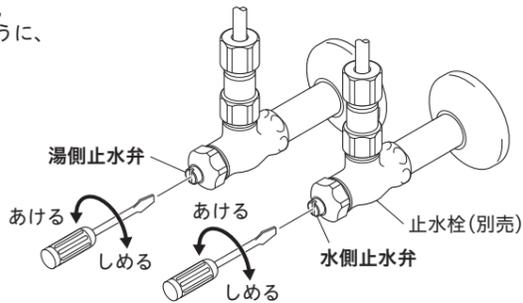
吐水口の泡まつ器にゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったりきれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- 吐水口金具をはずして泡まつ器を取り出します。
- 泡まつ器をブラシで水洗いします。



流量の調節方法（止水栓は本製品に同梱されていません。別売です）

流量の調節は右記の方法で行ってください。レバーハンドルが全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



図は一般地仕様です

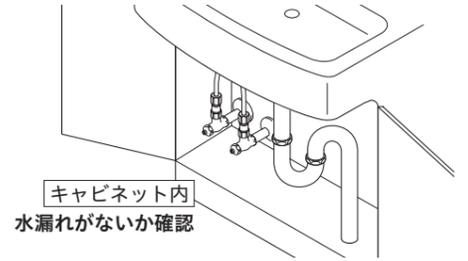
5 ページ

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

配管まわりの水漏れ（1か月に1回程度）

【△注意】
配管まわり（キャビネット内）の水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。



水栓取り付け部のがたつき（1か月に1回程度）

【△注意】
水栓取り付け部のがたつきがないか確認してください。がたついたらそのまま使用になると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

使用年数											
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検											買い替え ご検討
消耗部品の交換（パッキン等）[有料]											
摩耗劣化部品の交換（シャワーホース等）[有料]											

部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。
・摩耗劣化部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等

【△注意】 中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。（逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください）

補修用部品の供給期間 この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後10年です。

6 ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	5ページ 「流量の調節方法」
	泡まつ器にゴミ等がたまっていますか	泡まつ器を清掃する	5ページ 「泡まつ器の清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	泡まつ器は凍っていませんか	泡まつ器にぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	5ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	5ページ 「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	5ページ 「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	泡まつ器にゴミ等がたまっていますか	泡まつ器を清掃する	5ページ 「泡まつ器の清掃方法」
吐水が飛び散る	泡まつ器にゴミ等がたまっていますか	泡まつ器を清掃する	5ページ 「泡まつ器の清掃方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
・メンテナンスは、しっかりと本体を保持しながら行ってください。
レバーハンドルを持ってはらずと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

7 ページ

保証書

品名	フィクサー混合水栓		お名前	様
保証期間	お買い上げ日から 3年			
お買い上げ日	年 月 日		電話	
工事店	店名	電話		
※上記はお客様でご記入をお願いいたします（サービスを依頼される際にお役に立ちます）				
1. 正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償にて修理または部品を送付いたします。 2. 保証期間内でも、次の場合は有償扱いとなります。 ア) 使用上の誤りおよび不当な修理や設置による故障および損傷 イ) 正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障および損傷 ウ) 弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障および損傷 エ) 弊社以外の組立設置において、組立設置資料どおりに取付けを行わなかった場合や、分解改造などに起因する不具合 オ) 設置床面の凹凸に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業（扉の丁番調整など） カ) 本来の目的以外の用途や一般家庭以外（例：車両・船舶への搭載、業務用など）に使用した場合の故障 キ) お買い上げ後の取付場所の移動による故障および損傷 ク) 天災地変など不可抗力による故障および損傷 ケ) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および外部ノイズなどに起因する不具合 コ) 消耗部品（照明の管球・グローランプ・パッキン・カートリッジなど）の劣化に伴う故障および損傷 サ) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など商品本体以外の不具合に起因する商品の不具合および表面仕上げの色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合 シ) 砂やゴミ、給水・給湯配管のサビなど、異物流入および水あかの固着に起因する不具合 ス) 海岸付近や温泉地など、地域における腐食性の空気環境・公害に起因する不具合 セ) 温泉水や井戸水など、水道法に定められた飲料水のミネラル基準に適合しない水を供給したことによる不具合 ソ) 汚れやメッキ部品のサビ・カビなど、通常のお手入れ不足による不具合 タ) ねずみ・昆虫など動物の行為に起因する不具合 チ) 凍結による故障および損傷 ツ) 材料の性質上生じるもの（木・石など自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った商品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど） テ) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤・塩素系洗剤・強酸・強アルカリなど）の使用により発生した損傷 ト) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤により損傷 ナ) 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの ニ) 仕上げキズなどで引き渡し時にお申し出がなかったもの ノ) 保証書の提示が無い場合 ネ) 保証書にご購入者様情報やお買い上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句が書き替えられた場合 ニ) 離島または離島に準る遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費 3. 本書は日本国内にて有効です。 4. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。				

●●● sanwacompany

02-WBF02T-00

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.

●お客様相談センター 受付時間:土・日・祝日、夏期休業、年末年始を除く 9:00~17:30
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。
[シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]

水栓の修理について

製造元メーカーへ直接修理依頼をされた場合、本保証の対象とならない場合があります。
修理のご依頼は、弊社お客様相談センターへご依頼ください。

製造元 **株式会社KVK** インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

8 ページ

405179-00